

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	44	学 校 名	焼津水産高等学校	校 長 名	沼 里 智彦
------	----	-------	----------	-------	--------

1 スクール・ミッション

県内唯一の水産・海洋高等学校として、企業や行政、高等教育機関等との連携による「体験的・探究的な学習」、「高度で実践的な学習」を通して、未来の地域産業を担い、地域の発展と活性化に貢献できる人材及び全国の水産産業を牽引する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
積極的に社会に参画しながら、より良く、たくましく生きるための資質・能力として、「基礎学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」を育成する	地域の企業、行政、教育機関との連携及び地域の環境や資源を生かした学びの充実を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す	基本的な生活習慣が確立しており、自らの意思で学びに向かい、主体的に行動できる生徒を求める

(2) 教育目標

『生徒一人一人の特性を最大限に伸ばす』をスローガンに、生徒が未来の創り手となり、積極的に社会に参画しながらより良く、たくましく生きるための資質・能力を身につけさせる。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 「基礎学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」等を備えた人材の育成
- イ 将来のスペシャリストとして、確かな知識と技能の定着、職業人としての「志」を育成
- ウ 地域の発展を見据えて、全国・世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- エ 「自己肯定感」の向上、「多様な価値観を共有」できる豊かな人間性を育む
- オ 健康な心身の育成及び「自他の安全を守る」意識の醸成
- カ 学校経営基盤確立のための諸施策の推進
 - ①地域の環境や資源を生かした学びの充実（社会に開かれた教育課程の実現）
 - ②地域・保護者への積極的な情報発信、広報広聴の充実
 - ③コンプライアンスの徹底、働き方改革の推進（ワーク・ライフ・バランス）
 - ④学校経営に基づく予算編成と執行、学校施設設備の管理と保全

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	「基礎的学力」、「自己理解力」、「将来設計力」、「社会適応力」、「危機管理能力」等を備えた人材の育成	・スタディサブリを活用した基礎学力の向上、学習習慣の確立（課題配信、学習動画の活用） ・学力の定着に向けた校内実力テスト、小テスト等の実施	・「授業が理解できた」と答える生徒 8 割以上 ・一日の家庭学習時間（平日）60 分以上の生徒 8 割以上 ・到達度テストの単元正答率 8 割以上 ・月 1 回以上の小テストの実施	教務課
		・育てたい資質・能力を身に付けさせるため学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善、校内研修の実施	・公開授業週間を年 2 回以上 ・ICT 活用等の校内研修を年 2 回	企画研修課
		・3 年間を見通した体系的な進路指導の構築とキャリア教育の充実による自己理解力と将来設計力の向上	・全学年を対象に進路ガイダンスを年 2 回以上実施 ・全生徒を対象に進路希望調査と個別面談の実施 ・就職・進学者の追跡調査の実施と在校生への還元	進路課

様式第1号

		水高カードによるマナー指導や登校指導、挨拶運動等により、場に応じた礼儀作法や基本的な生活習慣を身に付け、社会適応力を向上	- 水高カードの発行指導枚数前年比－10% - 遅刻者数前年比－10% - 進んで挨拶ができる生徒9割以上	生徒課
		実習や授業における集団行動訓練、実技指導等を通して、危機管理意識を向上	- 実習、授業における重大事故件数0件 - 学期ごとに施設・設備等の安全点検を実施	各学科 保健課
イ	将来のスペシャリストとして、確かな知識と技能の定着、職業人としての「志」を育成	職業研究、職業体験の充実により勤労観、倫理観を育成	2年生対象のインターンシップへの参加率100% - 地域を担う人材育成において企業との連携が図られている。	各学科 進路課
		- 外部講師による出前授業を通して、最先端の知識や技能の習得 - 就職講座、進路補講の充実により進路実現を支援	- 講師招請事業の実施（各科2回以上） - 進路実現100% - 学科関連企業等への就職・進学率85%以上	
ウ	全国・世界に羽ばたくグローバル人材の育成	国や県の制度を利用した海外留学を推奨	短期海外留学等の派遣者数毎年1人以上	教務課
エ	「自己肯定感」の向上、「多様な価値観を共有」できる豊かな人間性を育む	- 部活動の振興により達成感、自己肯定感の向上 - 生徒会及び委員会活動の振興により多様な意見を尊重し協働できる態度を育成 - 地域の奉仕活動やボランティア活動への参加を推奨	- 部活動に加入する生徒の割合100% - 学校生活を通して「自分が成長した」と実感できる生徒8割以上 - 生徒による主体的な企画・運営が行われている - 社会貢献活動等に生徒が積極的に参加している	生徒課
		読書に親しむ環境を整え、多様な考え方や価値観に触れる機会を増やす	- 生徒貸出件数3冊以上(年間一人平均) - 朝読書の推奨 - 図書委員会によるイベントの企画・開催年3回以上	図書課
オ	健康な心身の育成及び「自他の安全を守る」意識の醸成	健康教育の推進、特に感染症に関する知識を深め、自他の健康と命を守る意識を向上	- 保健だよりの発行年6回以上 - 薬学講座、熱中症予防講座の実施	保健課
		防災教育、避難訓練の実施により、災害から命を守る適切な行動の習得	- 校内の防災、津波避難訓練を年2回実施 「災害時に適切な行動がとれる」と答える生徒8割以上	総務課
		人間関係をはじめ生徒が抱える悩みや家庭環境等について気軽に相談できる体制を整備	「気軽に相談できる教職員がいる」と答える生徒8割以上 - 担任、学年、保健室、相談室と連携したサポート会議の開催 - スクールカウンセラーの活用、外部の専門機関との連携強化	相談室
カ	学校経営基盤確立のための諸施策の推進	地域の環境や資源を生かした学びの充実(社会に開かれた教育課程の実現)	- 地域や異校種と積極的な交流ができている - 企業や大学等と連携した教育プログラムを開発している	各学科
		地域・保護者への積極的な情報発信、広報広聴の充実	- 学校HP、学校公開、マスメディア等を活用した情報発信ができている - SNS等を活用した保護者との連絡体制の研究、PTAの広報広聴活動が充実している	教務課 総務課
		コンプライアンスの徹底、働き方改革の推進(ワーク・ライフ・バランス)	- 法令順守、誇りと使命感の涵養が図られている - 組織全体で業務の効率化、働きやすい職場づくりに取り組んでいる	キャリア開発委員会 管理職
		学校経営に基づく予算編成と執行、学校施設設備の管理と保全	- 適正で効率的な予算執行がなされている - 施設設備の定期点検、必要に応じた修繕がなされている	事務室